

TAP 挑む

特集



どちらとも
いえない

3%

Q

人とのかかわり方の
ヒントを発見できた

そうである

25%

とてもそうである

72%

助け合うことの大切さや、
自分が助けてほしい時に助
けてと声を出すことの大切
さを学んだ（他大学 1年）

どちらとも
いえない

4%

Q

プログラム内容は
ワクワクするものだった

そうである

26%

とてもそうである

70%

大変なこともあったし、初めは
4月が不安だったけど、この同
期と一緒に考えると楽しみで
仕方なくなった（企業 内定者）

チームメンバーを信頼するというのは簡
単なことではないと分かった。ただ、信
頼関係が築ければ高い目標を達成でき、
達成感も倍増するということを身をもっ
て学んだ（企業 社員）

どちらとも
いえない

2%

Q

プログラムは
メンバー同士での学びが
活用されていた

そうである

26%

とてもそうである

72%

企業が活用する TAP

アフターコロナの中で、企業や他大学など
学外からの研修依頼が増えています。

リピーター企業も多いTAP研修。
受講者はどのような学びを得たのか、
アンケート結果から読み解きます。

広い視野を持って行動すること
や、自主的にチームに良い影響
を与える行動を取りたいと思っ
た。普段から積極的に関係を構
築していきたい（企業 2年目）

どちらとも
いえない

2%

Q

チャレンジの必要性を
認識できた

そうである

26%

とてもそうである

71%

上長職が長く、挑戦よりも管理
することが多く、日常業務がマ
ネリ化していた部分があった。
しかしながら今回の研修でスタ
ッフを巻き込んだ挑戦を増やし
て、チームとしてまだまだ成長
できると感じた（企業 管理職）

学生たちが限界に挑戦する姿をみて頼もしい
と思った。また、その挑戦では仲間とのコミュ
ニケーションや信頼関係を築くことの大切
さを、ファシリテーターの先生方が気づくよ
うに導いてくださっている場面が印象的だっ
た（他大学 引率教員）

どちらとも
いえない

2%

Q

ファシリテーターは
チームの学びを促進していた

そうである

22%

とてもそうである

75%

玉川大学TAPセンター

外部受託TAP研修後アンケート結果

時期：2023年5月～24年6月

方法：ウェブによるアンケート依頼（任意・無記名）

対象：大学生以上の外部受講団体

（回答：受講団体40の受講者1,368人のうち

回答者954人、回答率69.7%）

※グラフでは1%以下の回答は省略